

2013年10月24日

報道関係各位

イマドキのキャンパスライフに関する調査

イマドキの学生は学外の課外活動に積極的な傾向 動機はシューカツ？

学生のバイト選び 最も重視するのは「時間の融通がきく仕事」
“キツくなくて楽しめる”がポイント？昔と比べて“稼ぎ”よりも“仕事内容”を重視する傾向

“隠れ趣味”や“おひとりさま趣味”の学生が増加傾向
イマドキの学生は「出費を惜しまない趣味」も「お金をかけずに楽しむ趣味」も持つ

学生の余暇は「コンパ」「ドライブ」「アウトドア」に代わり「ブラウジング」「動画サイト」「SNS」が台頭
イマドキの学生は「CDは買わずにライブに出費」「コンパやデートに行かずに貯金する」

学生のうちにやらずに後悔 「勉強」「旅行」「恋愛」

東京工芸大学(所在地：東京都中野区・神奈川県厚木市／学長：若尾 真一郎)は、2013年10月2日～8日の7日間、全国の4年制大学生を対象に「キャンパスライフに関する調査」をモバイルリサーチ(携帯電話によるインターネットリサーチ)で実施、800名の有効サンプルを集計しました。(調査協力会社：ネットエイジア株式会社)

また、今回の調査と併行して、30～49歳の4年制大学の卒業生200名を対象とした比較調査を行なっています。卒業生を昔の学生として現役学生と対比することで、“イマドキのキャンパスライフ”の傾向を探りました。

「イマドキのキャンパスライフに関する調査」 調査結果

== 課外活動とアルバイト ==

◆ イマドキの学生は学外の課外活動に積極的な傾向 動機はシューカツ？

◆ 「ボランティア活動に注力」大学4年生で24.5%、「インターンシップに注力」は19.0%

◆ ボランティア活動を始めた動機 学生の3割が「就職活動に役立ちそう」

始めに、全国の4年制大学生(800名：以下、現役学生)と、30～49歳の4年制大学の卒業生(200名：以下、卒業生)に対し、課外活動についての質問を行いました(図は5ページ以降にまとめて掲載しています)。

現役学生(800名)が在学中に『注力した』(「とても」+「やや」、以下同様)と回答した課外活動を見ると、《クラブ・サークル活動》が最も高く5割(47.7%)、次いで《学科以外の勉強(資格の取得やダブルスクール)》が4割(38.8%)、《大学のイベント(学園祭など)》が3割半(34.6%)、《ボランティア活動》が2割(19.7%)で続きました。また、4年生は《ボランティア活動》(24.5%)や《インターンシップ》(19.0%)に『注力した』と回答した割合が他の学年より高くなりました。図 3～図 9

現役の大学4年生(200名)を“今の学生”※、卒業生(200名)を“昔の学生”と見たて、それぞれが課外活動に『注力した』割合を比較すると、今の学生が昔の学生よりも『注力した』割合が高い活動は、《インターンシップ》(4年生19.0% > 卒業生8.5%)、《ボランティア活動》(4年生24.5% > 卒業生14.5%)、《学科以外の勉強》(4年生41.5% > 卒業生36.5%)でした。イマドキの学生は“大学の外で経験を積む”課外活動に積極的なようです。図 9

※在学期間の違いが回答結果に与える影響を極力取り除いて現役学生と卒業生とを比較するため、現役学生からは1～3年生を除外して(在学期間4年目以上の対象者のみで)比較を行いました。

それでは、イマドキの学生が昔の学生よりも大学の外で経験を積む課外活動に積極的になったのには、どのような動機や背景があるのでしょうか。

現役学生のうち、各課外活動の経験者に対し、その活動を始めた際に抱いた気持ちを聞いたところ、《インターンシップ》では「就職活動でプラスになりそう」(42.3%)や「為になりそう・役立ちそう」(38.5%)、「視野が広まりそう」(29.5%)、

「挑戦してみたい・体験しておきたい」(24.8%)が上位回答に挙がりました。《ボランティア活動》や《学科以外の勉強》においてもこれら4つの回答が上位になっており、《ボランティア活動》では、奉仕の気持ちが動機になったとする「役に立ちたい・貢献したい」(24.4%)よりも、「就職活動にプラスになりそう」(29.5%)や「視野が広まりそう」(31.4%)といった回答が上位となっています。図 10 図 11 図 12

また、「就職活動でプラスになりそう」の割合を、現役学生と卒業生とで比較すると、《インターンシップ》(現役学生42.3% > 卒業生15.9%)、《ボランティア活動》(現役学生29.5% > 卒業生13.1%)、《学科以外の勉強》(現役学生50.6% > 卒業生39.3%)と、10ポイント以上現役学生の割合が高くなっていることがわかります。これらの活動にイマドキの学生が積極的になった背景に、就職難や就職競争の激化の影響があったと考えられるのではないのでしょうか。図 13

◆ 学生のバイト選び 最も重視するのは「時間の融通がきく仕事」

◆ “キツくなくて楽しめる”がポイント？昔と比べて“稼ぎ”よりも“仕事内容”を重視する傾向

◆ 学生のバイト経験 1位「コンビニ・量販店」 2位「飲食店」 3位「家庭教師・塾講師」

続いて、アルバイト選びや実際に経験したことがあるアルバイトについて、質問を行いました。

在学中にアルバイトをしたことがある現役学生(599名)に対し、アルバイト選びで最も重視した点を聞いたところ、「時間の融通がきく仕事」が3割(30.4%)で最も高く、次いで「稼げる仕事」(23.4%)、「楽しめる仕事」(15.9%)、「将来の仕事や就活に役立つ仕事」(10.5%)、「キツくない仕事」(10.4%)が続きました。

在学中にアルバイトをしたことがある卒業生(186名)と比較すると、現役学生は卒業生よりも、「稼げる仕事」(現役学生23.4% < 卒業生32.3%)を選ぶ割合が低く、「楽しめる仕事」(現役学生15.9% > 卒業生10.8%)や「キツくない仕事」(現役学生10.4% > 卒業生4.3%)を選ぶ割合が高くなりました。イマドキの学生のバイト選びでは、昔に比べて賃金よりも仕事内容(楽しい・キツくない)を重視する傾向にあるようです。図 14

次に、在学中にアルバイトをしたことがある現役学生にどんなアルバイトを経験したか聞いたところ、最も多かったのは「コンビニ・量販店」(27.2%)、次いで、「一般飲食店(レストランなど)」(26.5%)、「家庭教師・塾講師・チューター」(21.2%)、「居酒屋・バー」(14.5%)、「イベント・キャンペーンスタッフ」(14.2%)と続きました。図 15

また、アルバイト選びの最重視点別に比較すると、時間の融通がきく仕事を重視する層では「コンビニ・量販店」(32.4%)が他の層より高くなり、稼げる仕事を重視する層では「一般飲食店」(32.9%)や「居酒屋・バー」(21.4%)などの飲食系のアルバイトが、将来役立つ仕事を選ぶ層では「家庭教師・塾講師・チューター」(41.3%)が高くなりました。図 16

== 大学生活における趣味と余暇 ==

◆ “隠れ趣味”や“おひとりさま趣味”の学生が増加傾向

「一人でする趣味がある」半数、「隠している趣味がある」2割半

◆ 広がる趣味のシェア意識 「インターネット上で趣味発信」27.1%、「自分の趣味は友人と共有したい」19.0%

◆ 趣味への出費はメリハリ化の傾向

イマドキの学生は「出費を惜しまない趣味」も「お金をかけずに楽しむ趣味」も持つ

続いて、在学中の《趣味の傾向》や、《趣味の共有・趣味での交流》、《趣味への出費》について探りました。

現役学生(800名)に対し、大学生活での趣味に関する意識・行動としてあてはまるものを聞いたところ、《趣味の傾向》に関する項目では、「一人で活動する趣味を持っている」(48.6%)と「ハマっている趣味がある」(42.3%)が4割台、「痛いと思われそうな趣味がある」(24.8%)と「周りに隠している趣味がある」(24.6%)が2割台で続きました。

これらを卒業生(200名)と比較すると、現役学生は卒業生よりも「周りに隠している趣味がある」(現役学生24.6% > 卒業生5.5%)や「一人で活動する趣味を持っている」(現役学生48.6% > 卒業生39.5%)などの割合が高くなり、イマドキの学生は“隠れ趣味”や“おひとりさまで楽しむ趣味”を持っている傾向が明らかになりました。

また、《趣味の共有や趣味での交流》に関する項目で、現役学生は「インターネット上に趣味について発信する場を持っている」(27.1%)や「趣味を通じて知り合った友人がいる」(26.6%)が4人に1人の割合となりました。また、「自分の趣味は友人と共有したい」との回答も2割(19.0%)みられます。

卒業生との比較では、「インターネット上に趣味について発信する場を持っている」と回答した現役学生の割合(27.1%)は卒業生(4.5%)よりも20ポイント以上高くなりました。

さらに、《趣味への出費》に関する項目では、「お金をかけずに楽しめる趣味がある」割合が3割(28.9%)となった一方で「出費を惜しまない趣味がある」割合が2割半(23.4%)程度みられます。これらの割合は卒業生(それぞれ14.5%、16.0%)よりも高くなりました。イマドキの学生は、趣味毎に出費にメリハリをつけて楽しんでいるようです。図 17

- ◆ 学生の余暇は「コンパ」「ドライブ」「アウトドア」に代わり「ブラウジング」「動画サイト」「SNS」が台頭
- ◆ イマドキの学生の使えるお金は「友人との交流」「マンガ」「外食」「貯金」に
- ◆ イマドキの学生は「CDは買わずにライブに出費」「コンパやデートに行かずに貯金する」

それでは、イマドキの学生はどのような余暇を過ごし、どのような物事にお金を費やしているのでしょうか。

現役学生(800名)に対し、大学生活における自由な時間(余暇)にどのような事をして過ごすことが多いか聞いたところ、最多は「インターネット閲覧」(63.9%)、次いで、「TV・DVDの視聴」(53.0%)、「音楽鑑賞」(47.4%)、「マンガ」(40.0%)、「動画共有サイト閲覧」(36.3%)が続きました。また、卒業生(200名)に同様の質問をしたところ、「TV・DVDの視聴」(44.5%)が最も多く、次いで、「アルバイト」(40.0%)、「音楽鑑賞」(39.0%)、「友人と会話」(35.5%)、「飲み会・コンパ」(30.5%)が続きました。図 18図 19

現役学生と卒業生とを比較すると、主にインターネット関連の項目で現役学生の割合が卒業生より高く、「インターネット閲覧」(+42.4pt: 現役学生-卒業生、以下同様)、「動画共有サイト閲覧」(+35.3pt)、「SNSやメールでの交流」(+31.1pt)などで30ポイント以上の差がみられました。反対に、現役学生の割合が低くなった項目は、「飲み会・コンパ」(-14.7pt)、「ドライブ・ツーリング」(-12.4pt)、「アウトドアレジャー」(-10.6pt)などでした。インターネットやSNSに時間を費やす方が増えた一方で、飲み会やドライブ、アウトドアのレジャーに余暇を充てる方が減少しているようです。図 20

次に、大学生活で自由に使えるお金を費やしている物事を聞いたところ、現役学生(800名)で最も多かったのは「友人との交流」で7割(68.1%)となりました。以下、3割台で「マンガ」(35.3%)、「外食」(32.0%)、「貯金」(30.4%)、「ゲーム」(30.1%)が続きました。また、卒業生に同様の質問をしたところ、最も多かったのは、現役学生と同じく「友人との交流」(71.0%)でした。以下、「恋人・異性との交流」(38.5%)、「飲み会・コンパ」(33.0%)、「音楽鑑賞・オーディオ機器」(31.5%)、「旅行」(26.5%)が続きました。図 21図 22

現役学生と卒業生とを比較し、現役学生が卒業生よりも自由に使えるお金を費やしている割合が高かった項目は「マンガ」(+19.8pt)や「ゲーム」(+12.1pt)、「音楽イベント」(+7.8pt)などの娯楽関連や、「貯金」(+12.9pt)、「携帯・スマホ」(+9.0pt)などでした。反対に、現役学生の割合が低くなった項目は、「恋人・異性との交流」(-14.2pt)、「自動車・バイク関連」(-11.4pt)、「音楽鑑賞・オーディオ機器」(-6.2pt)、「飲み会・コンパ」(-6.2pt)となりました。昔と比べ、自由なお金をCDやオーディオ機器などの購入に費やす方が減少する一方で、ライブやフェスなどの音楽イベント関連に費やす方が増加している点や、コンパや異性との交流に費やす方が減少し、貯金をする方が増えている点など、イマドキの学生の特徴がみられました。図 23

== キャンパスライフで得たもの ==

- ◆ キャンパスライフで得たもの「友人」「広い視野」「コミュニケーション力」
- ◆ 卒業生は大学生活を振り返り「人格形成」や「恋愛」を評価する傾向
- ◆ 学生のうちにやらずに後悔「勉強」「旅行」「恋愛」

現役学生(800名)に対し、学科の勉強・研究以外の大学生活で得たものは何か聞いたところ、最も多かったのは「友人ができた」で6割半(64.9%)、次いで、「視野が広がった」(44.5%)、「コミュニケーション力が鍛えられた」(34.6%)、「教養が身についた」(26.1%)が続きました。勉強や研究をするだけでなく、キャンパスライフを通じ、友人を得ることができたり、様々な考えを取り入れることができるようになったりしたと感じているようです。

また、卒業生(200名)は「友人ができた」(76.5%)や「人格形成に役立った」(25.0%)、「恋人ができた」(24.5%)などの割合が現役学生よりも高くなりました。卒業後、大学生だった当時を振り返ると、これらの体験の評価がより高まるのかもしれない。図 24

また、卒業生に大学生のうちに(もっと)やっておけば良かったと思うことは何かを聞いたところ、最も多かったのは「学科の勉強」(55.0%)、次いで「学科以外の勉強」(53.5%)と、勉強関連の項目が上位となりました。以下、「旅行」(43.0%)、「恋愛」(29.5%)、「英会話」(29.0%)、「留学」(25.5%)が続きます。学科の勉強をしておけば良かった理由として、「社会人になっても、必要な知識だった」(30代男性)や「学問に取り組めるのは学生のうちだけと実感した」(40代女性)といった後悔のコメントがよせられました。また旅行や留学に関しても、「働き出すとまとまった時間が取れないので学生のうちにすべきだった」との趣旨コメントが散見されました。現役学生には、卒業生の後悔を「勉強や研究はもちろんのこと、興味があることには臆せず挑戦すべき」との先輩のアドバイスとして受け止め、生涯の友人ができた自分の視野が広がったりするような、充実した体験を大学生のうちに経験して欲しいものです。図 25図 26

東京工芸大学学園祭「工芸祭」を「ロックの学園」と同時開催

調査では、イマドキの学生の「ライブ・フェス」熱が明らかになっています。本学では、2013年11月2日(土)～3日(日)に開催する学園祭「第46回工芸祭」を、株式会社NHKエンタープライズが主催する音楽イベント「ロックの学園2013」と同時開催します。コラボレーション企画であるポスターコンテスト・CMコンテストも開催し、学生の積極的な参加を促しています。将来、キャンパスライフを振り返ったときに記憶に残る学園祭となるよう、イマドキの学生が熱中できる場を提供しています。

■「第46回工芸祭」開催概要

1. 会期 2013年11月2日(土)～3日(日)
2. 会場 東京工芸大学厚木キャンパス
3. 入場料 無料 ※ロックの学園「体育館ライブ」のみ有料
4. テーマ FestFanatic

■「ロックの学園2013」出演者およびプログラム

1. 体育館ライブ【有料・全席立見・ブロック指定 ※各公演時間:約60分】
各公演立見 3,500円(税込) / 1日通し立見 8,000円(税込) ※各回入替
体育館で繰り広げられる、多彩なアーティストによる白熱のライブステージ!

11月2日(土)

- 1時限目 11:30 開場 / 12:00 開演 秦 基博
- 2時限目 15:00 開場 / 15:30 開演 WEAVER
- 3時限目 18:00 開場 / 18:30 開演 UNISON SQUARE GARDEN

11月3日(日)

- 1時限目 11:00 開場 / 11:30 開演 ゴールデンボンバー
- 2時限目 15:00 開場 / 15:30 開演 ロックの学園女子部(SHOW-YA、LoVendo 八神純子)
- 3時限目 18:00 開場 / 18:30 開演 乃木坂 46

2. ロックの授業【無料 ※整理券入場(予定) ※約45分】

現役ミュージシャンを講師に招き、「ロック」をテーマに個性的な授業を開講!

11月2日(土)

- 1時限目 13:30 開講 きいやま商店
- 2時限目 17:00 開講 加藤ひさし(ザ・コレクターズ)

11月3日(日)

- 1時限目 13:30 開講 石田ショーキチ(SCUDELIA ELECTRO etc.)
- 2時限目 17:00 開講 寺田恵子(SHOW-YA)

グラフ・図表

図 1: 回答者属性_現役学生.....	6
図 2: 回答者属性_卒業生.....	6
図 3: 在学中、《学科以外の勉強》にどの程度注力したか.....	7
図 4: 在学中、《クラブ・サークル活動》にどの程度注力したか.....	7
図 5: 在学中、《大学のイベント》にどの程度注力したか.....	7
図 6: 在学中、《自治活動》にどの程度注力したか.....	8
図 7: 在学中、《ボランティア活動》にどの程度注力したか.....	8
図 8: 在学中、《インターンシップ》にどの程度注力したか.....	8
図 9: 在学中、課外活動に『注力した』割合.....	9
図 10: 《インターンシップ》を始めた際に抱いた気持ち.....	10
図 11: 《ボランティア活動》を始めた際に抱いた気持ち.....	10
図 12: 《学科以外の勉強》を始めた際に抱いた気持ち.....	11
図 13: 課外活動を始めた際、「就職活動でプラスになりそう」と考えた割合.....	11
図 14: 在学中のアルバイト選びで最も重視した点.....	12
図 15: 在学中に行なったことがあるアルバイト.....	13
図 16: 在学中に行なったことがあるアルバイト_アルバイト選びの最重視点別.....	13
図 17: 大学生生活での趣味についての意識・行動としてあてはまるもの.....	14
図 18: 大学生生活における自由な時間(余暇)にどのような事をして過ごすことが多いか.....	15
図 19: 大学生生活における自由な時間(余暇)にどのような事をして過ごすことが多かったか.....	15
図 20: 大学生生活における自由な時間(余暇)の過ごし方の現役学生と卒業生との差.....	16
図 21: 大学生生活で自由に使えるお金を費やしている物事.....	17
図 22: 大学生生活で自由に使えるお金を費やした物事.....	17
図 23: 大学生生活で自由に使えるお金を費やす対象の現役学生と卒業生との差.....	18
図 24: 学科の勉強・研究以外の大学生生活で得たもの.....	19
図 25: 大学生のうちに(もっと)やっておけば良かったと思うこと.....	20
図 26: 大学生のうちに(もっと)やっておけば良かったと思う理由.....	20

図 1: 回答者属性_現役学生

◆回答者属性_現役学生 (項目ごとに単一回答) ※n=800

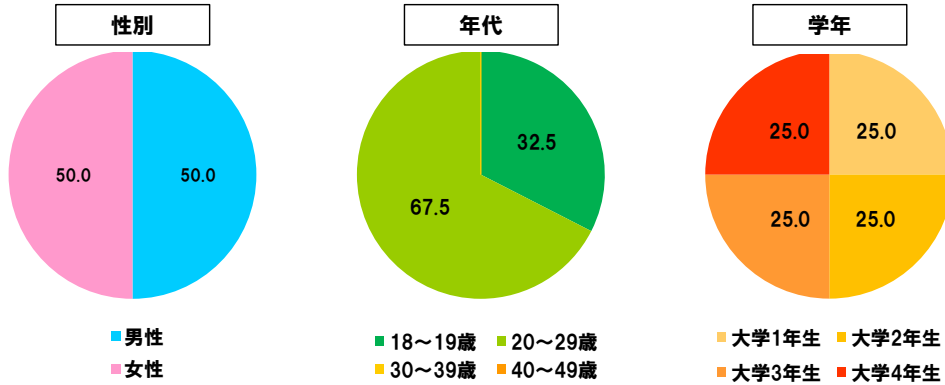


図 2: 回答者属性_卒業生

◆回答者属性_卒業生 (項目ごとに単一回答) ※n=200

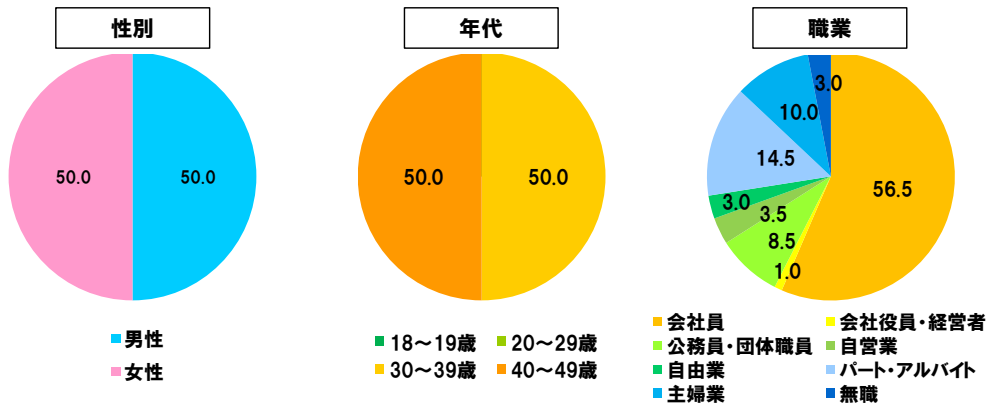


図 3: 在学中、《学科以外の勉強》にどの程度注力したか

◆在学中、《学科以外の勉強》にどの程度注力したか (単一回答)
※学科以外の勉強: 資格の取得やダブルスクールなど

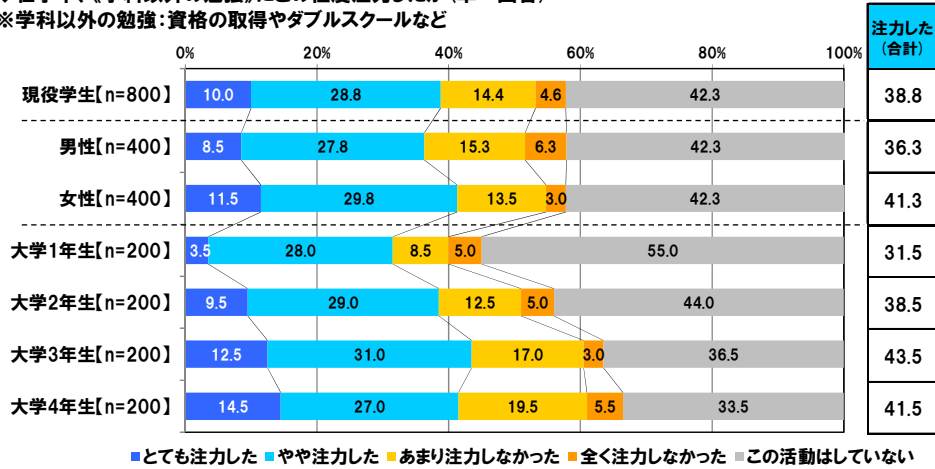


図 4: 在学中、《クラブ・サークル活動》にどの程度注力したか

◆在学中、《クラブ・サークル活動》にどの程度注力したか (単一回答)

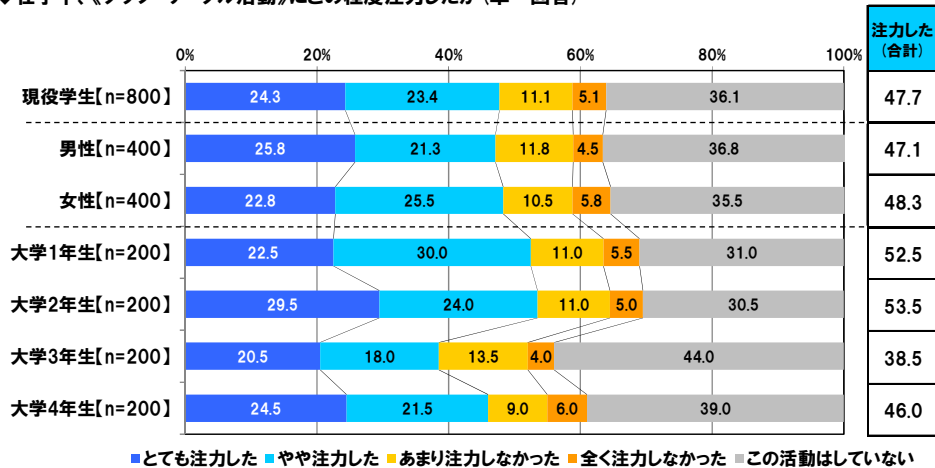


図 5: 在学中、《大学のイベント》にどの程度注力したか

◆在学中、《大学のイベント》にどの程度注力したか (単一回答)
※大学のイベント: 学園祭など

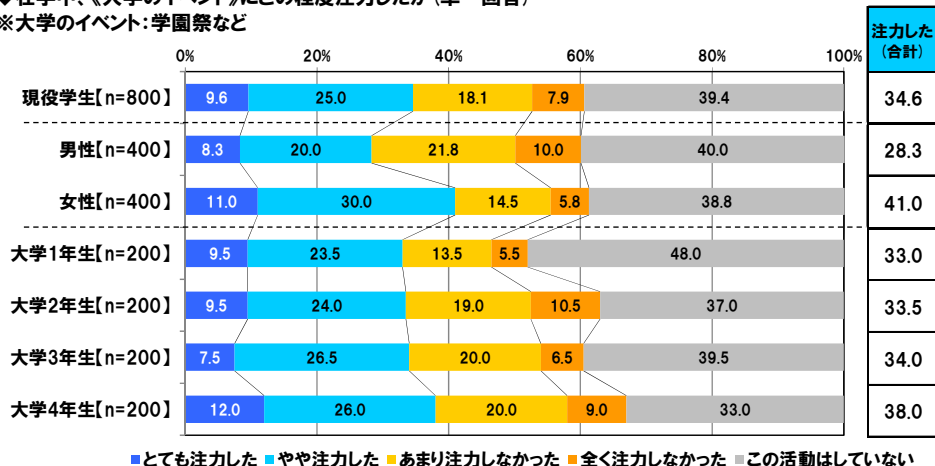
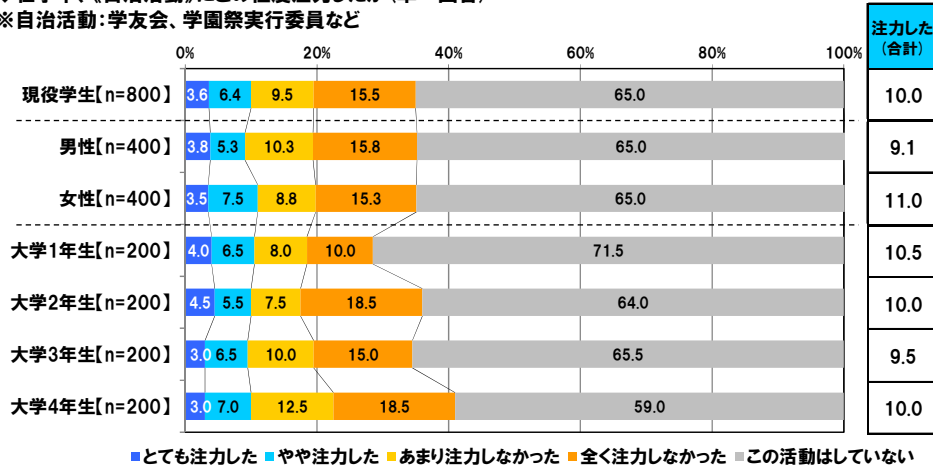


図 6: 在学中、《自治活動》にどの程度注力したか

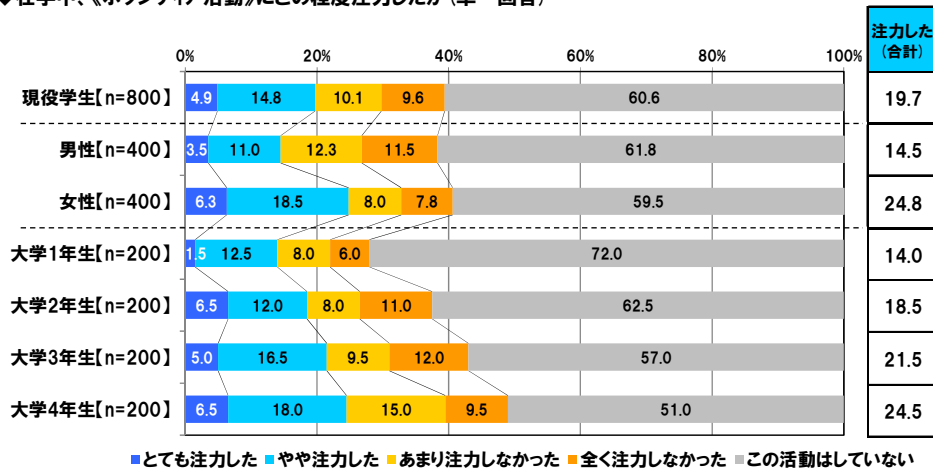
◆在学中、《自治活動》にどの程度注力したか(単一回答)
※自治活動: 学友会、学園祭実行委員など



■とても注力した ■やや注力した ■あまり注力しなかった ■全く注力しなかった ■この活動はしていない

図 7: 在学中、《ボランティア活動》にどの程度注力したか

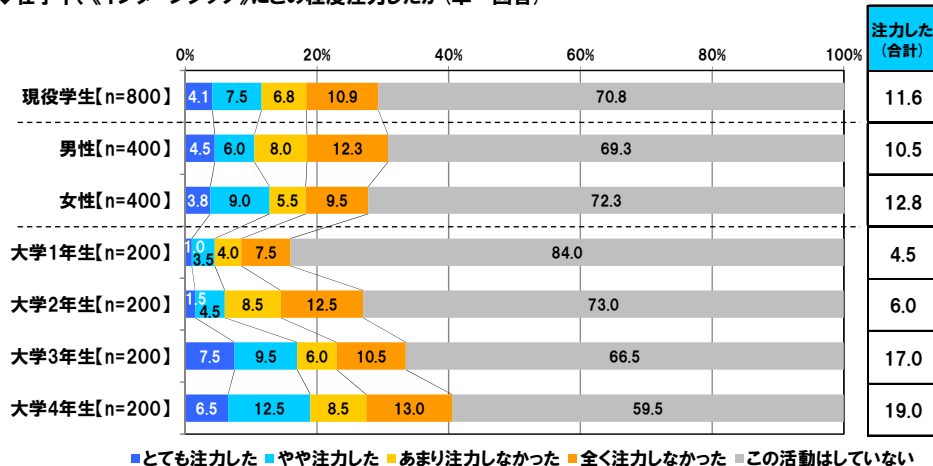
◆在学中、《ボランティア活動》にどの程度注力したか(単一回答)



■とても注力した ■やや注力した ■あまり注力しなかった ■全く注力しなかった ■この活動はしていない

図 8: 在学中、《インターンシップ》にどの程度注力したか

◆在学中、《インターンシップ》にどの程度注力したか(単一回答)



■とても注力した ■やや注力した ■あまり注力しなかった ■全く注力しなかった ■この活動はしていない

◆ イマドキの学生は学外の課外活動に積極的な傾向 動機はシューカツ？

◆ 「ボランティア活動に注力」大学4年生で24.5%、「インターンシップに注力」は19.0%

図 9: 在学中、課外活動に『注力した』割合

◆在学中、課外活動に『注力した』割合(項目ごとに単一回答)

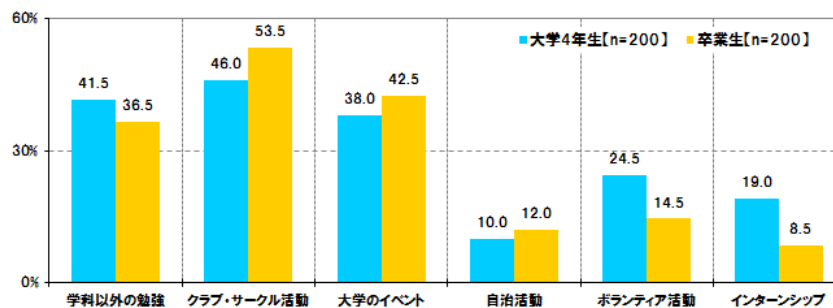
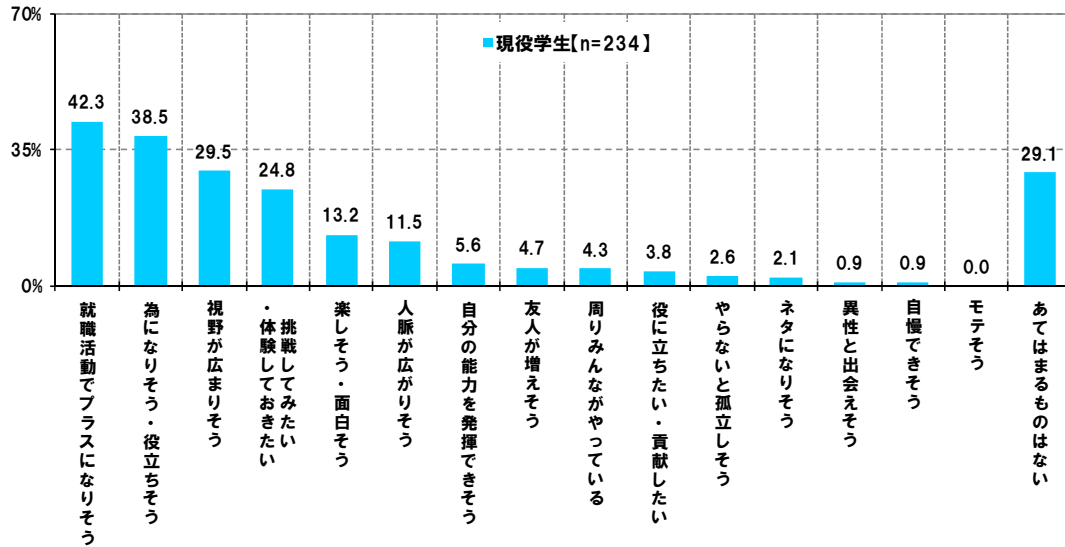


図 10:《インターンシップ》を始めた際に抱いた気持ち

◆《インターンシップ》を始めた際に抱いた気持ち(複数回答)
 ※対象:現役学生のうち、インターンシップの経験者



◆ ボランティア活動を始めた動機 学生の3割が「就職活動に役立ちそう」

図 11:《ボランティア活動》を始めた際に抱いた気持ち

◆《ボランティア活動》を始めた際に抱いた気持ち(複数回答)
 ※対象:現役学生のうち、ボランティア活動の経験者

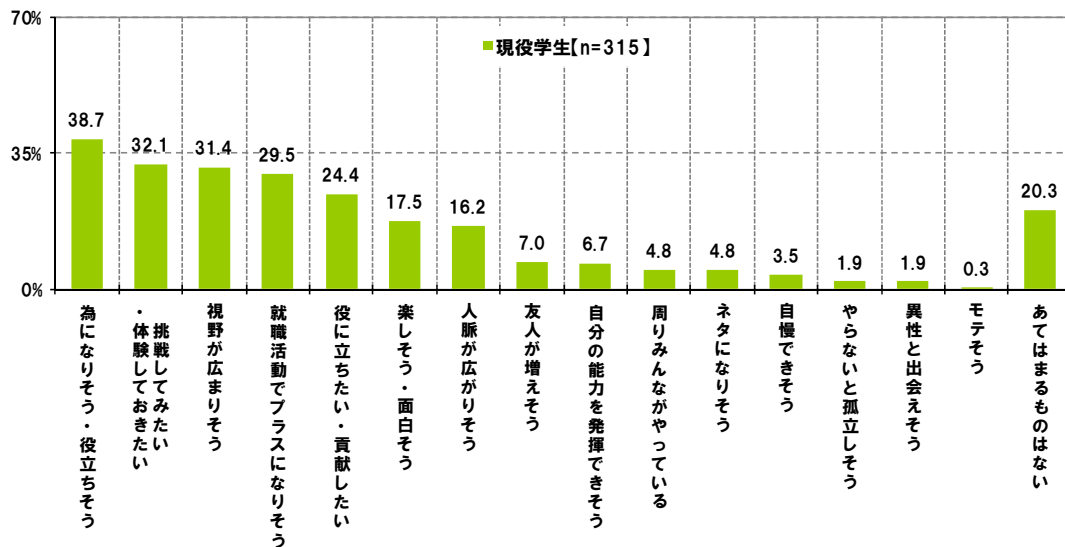


図 12:《学科以外の勉強》を始めた際に抱いた気持ち

◆《学科以外の勉強》を始めた際に抱いた気持ち(複数回答)
 ※対象:現役学生のうち、学科以外の勉強の経験者

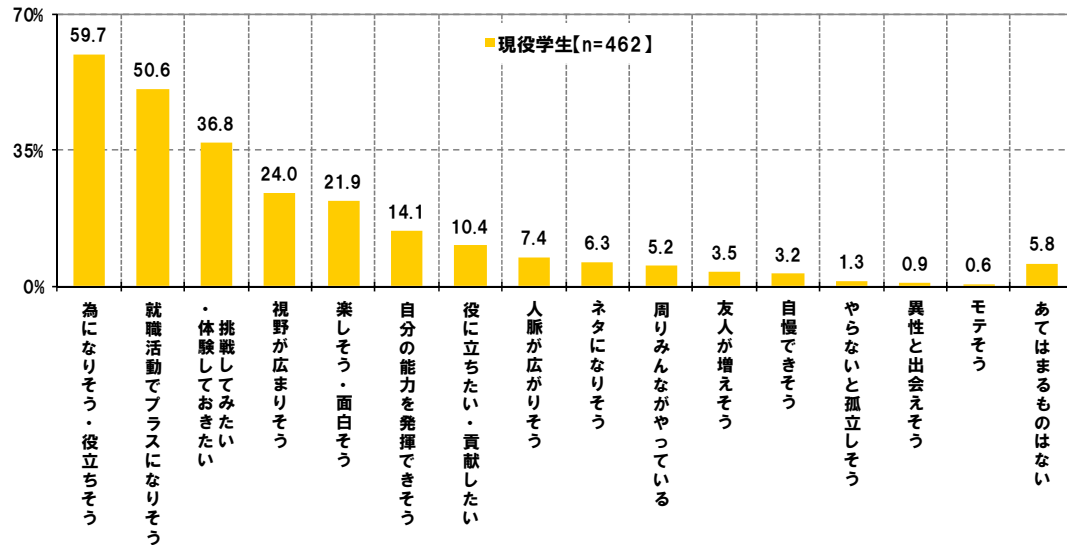
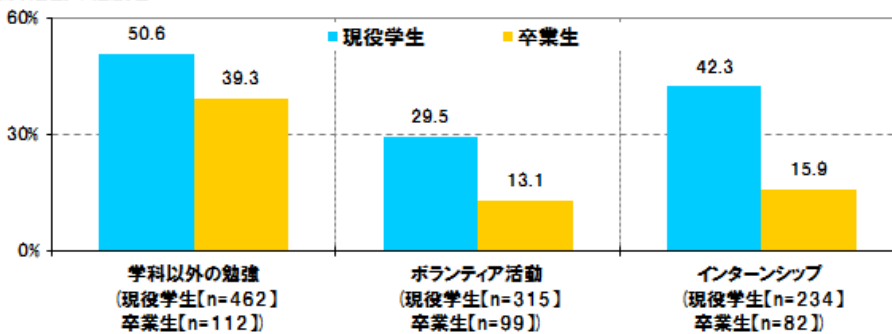


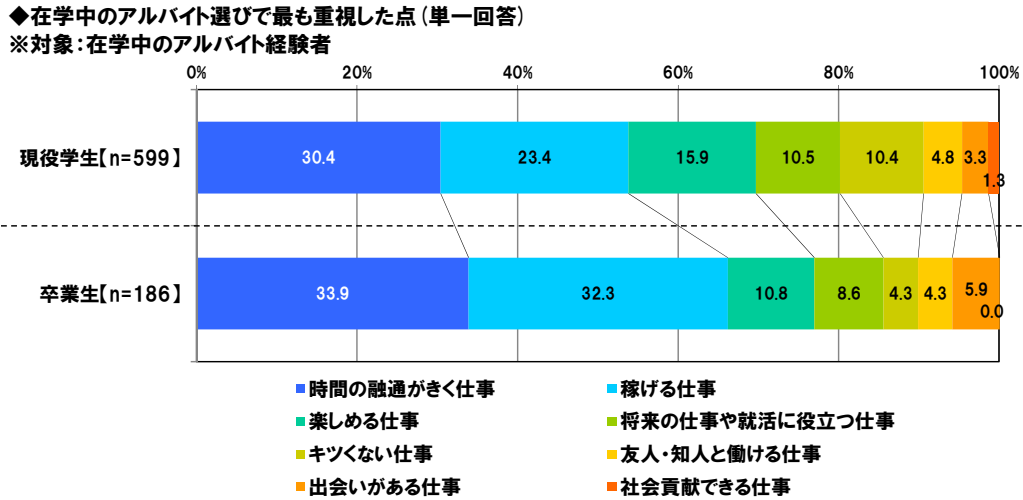
図 13: 課外活動を始めた際、「就職活動でプラスになりそう」と考えた割合

◆課外活動を始めた際、「就職活動でプラスになりそう」と考えた割合(複数回答結果より抜粋)
 ※各課外活動の経験者



- ◆ 学生のバイト選び 最も重視するのは「時間の融通がきく仕事」
- ◆ “キツくなくて楽しめる”がポイント？昔と比べて“稼ぎ”よりも“仕事内容”を重視する傾向

図 14: 在学中のアルバイト選びで最も重視した点



◆ 学生のバイト経験 1位「コンビニ・量販店」 2位「飲食店」 3位「家庭教師・塾講師」

図 15: 在学中に行なったことがあるアルバイト

◆在学中に行なったことがあるアルバイト(複数回答)
※対象: 在学中にアルバイト経験のある現役学生

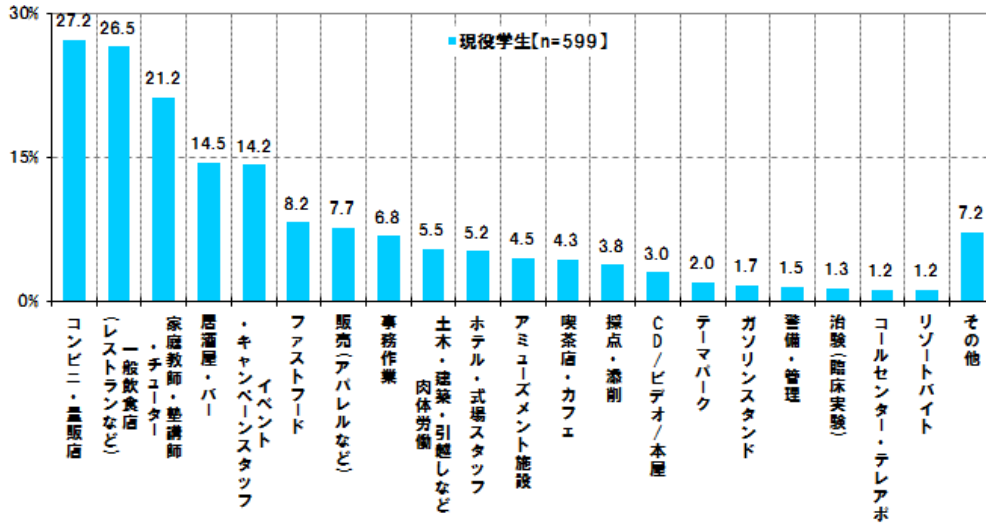
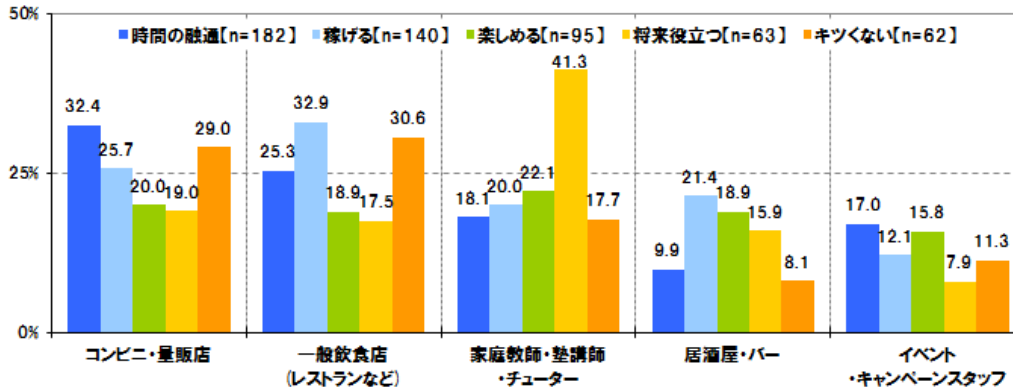
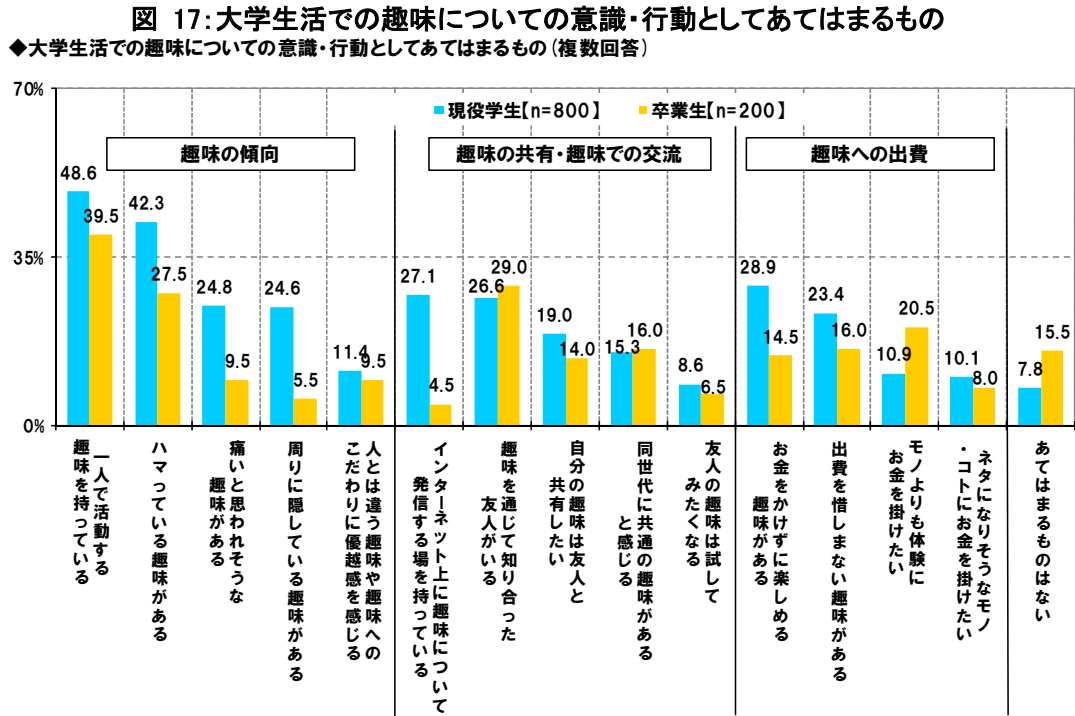


図 16: 在学中に行なったことがあるアルバイト アルバイト選びの最重視点別

◆在学中に行なったことがあるアルバイト アルバイト選びの最重視点別(複数回答)
※対象: 在学中にアルバイト経験のある現役学生 ※上位5位まで抜粋



- ◆ “隠れ趣味”や“おひとりさま趣味”の学生が増加傾向
「一人でする趣味がある」半数、「隠している趣味がある」2割半
- ◆ 広がる趣味のシェア意識 「インターネット上で趣味発信」27.1%、「自分の趣味は友人と共有したい」19.0%
- ◆ 趣味への出費はメリハリ化の傾向
イマドキの学生は「出費を惜しまない趣味」も「お金をかけずに楽しむ趣味」も持つ



◆ 学生の余暇は「コンパ」「ドライブ」「アウトドア」に代わり「ブラウジング」「動画サイト」「SNS」が台頭

図 18: 大学生活における自由な時間(余暇)にどのような事をして過ごすことが多いか
 ◆ 大学生活における自由な時間(余暇)にどのような事をして過ごすことが多いか(複数回答)
 ※上位20位まで抜粋

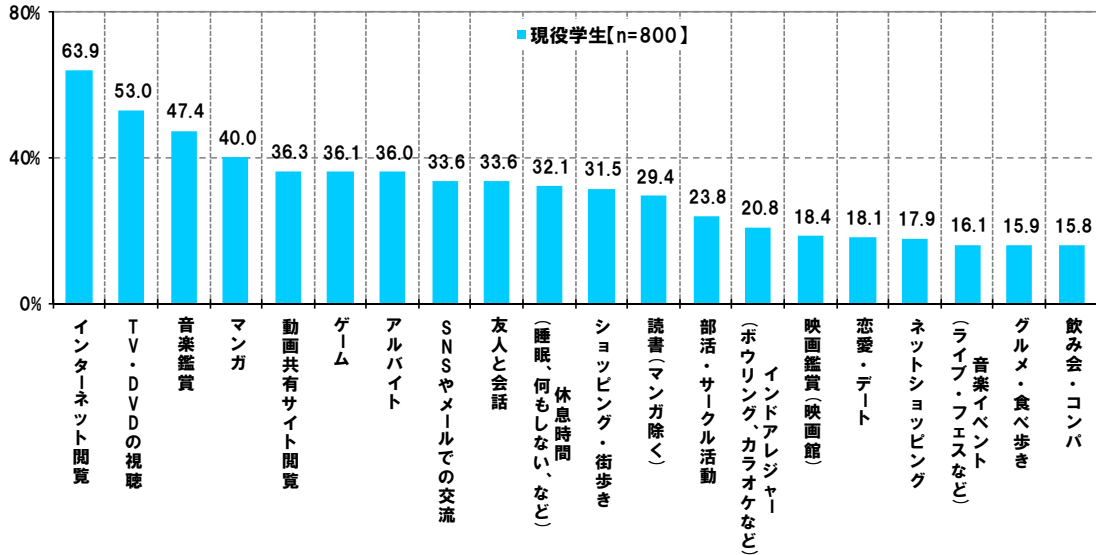


図 19: 大学生活における自由な時間(余暇)にどのような事をして過ごすことが多かったか
 ◆ 大学生活における自由な時間(余暇)にどのような事をして過ごすことが多かったか(複数回答)
 ※上位20位まで抜粋

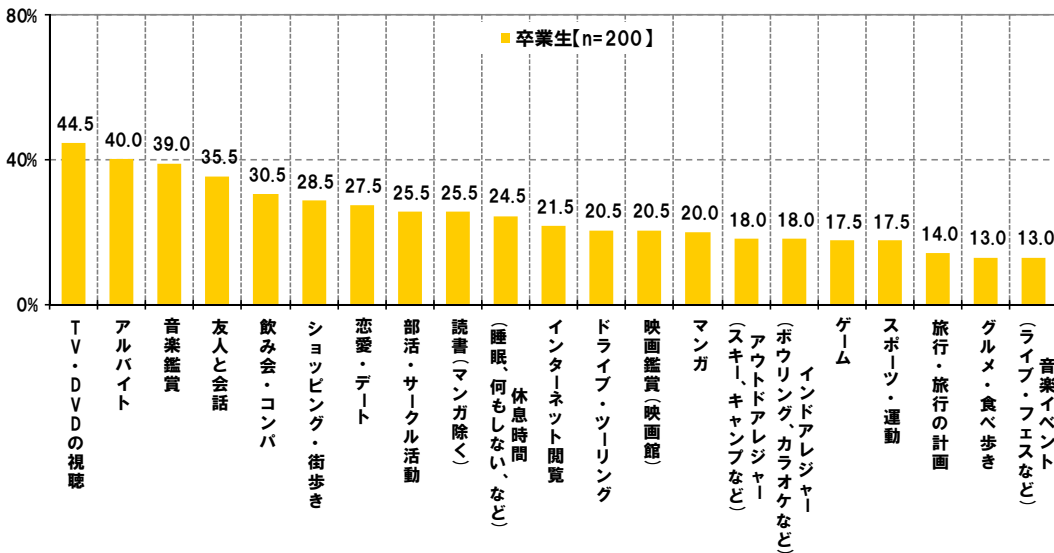
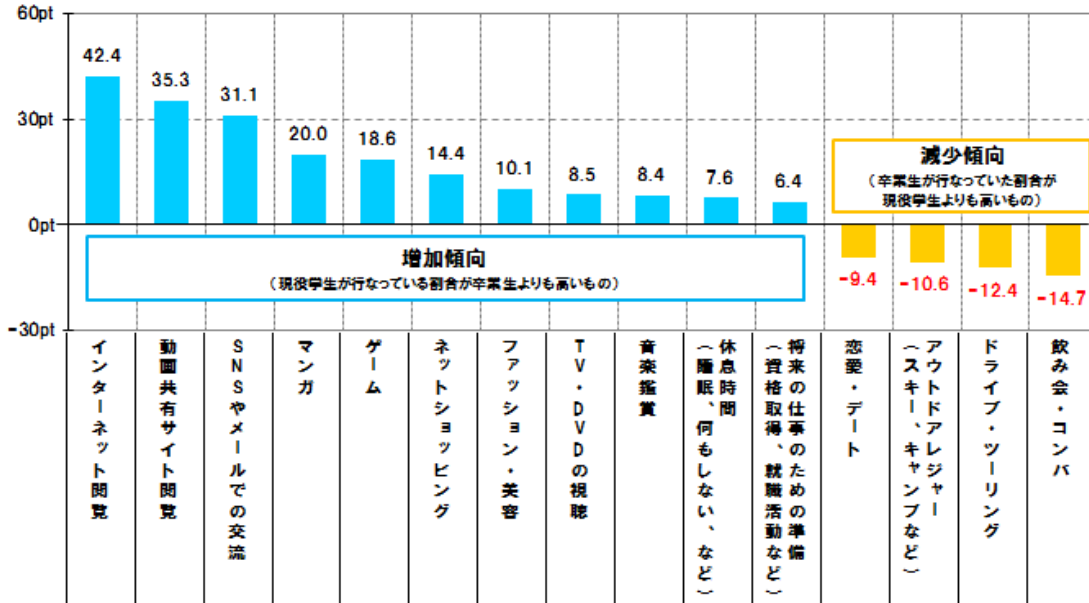


図 20: 大学生活における自由な時間(余暇)の過ごし方の現役学生と卒業生との差

◆大学生活における自由な時間(余暇)の過ごし方の現役学生と卒業生との差
 (複数回答結果より作成) ※5pt以上の開きがあるものを抜粋



◆ イマドキの学生の使えるお金は「友人との交流」「マンガ」「外食」「貯金」に

図 21: 大学生活で自由に使えるお金を費やしている物事

◆ 大学生活で自由に使えるお金を費やしている物事 (複数回答)

※ 上位20位まで抜粋

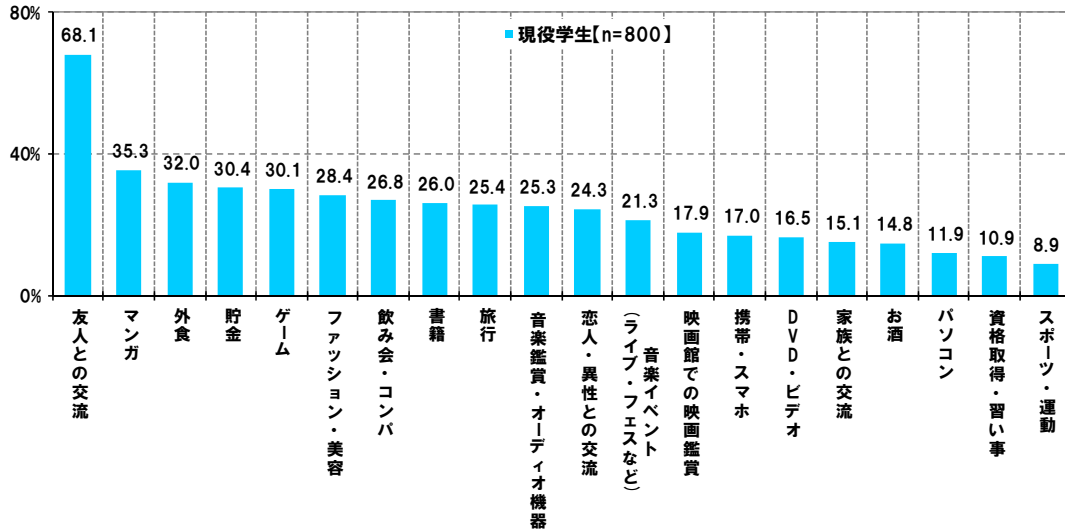
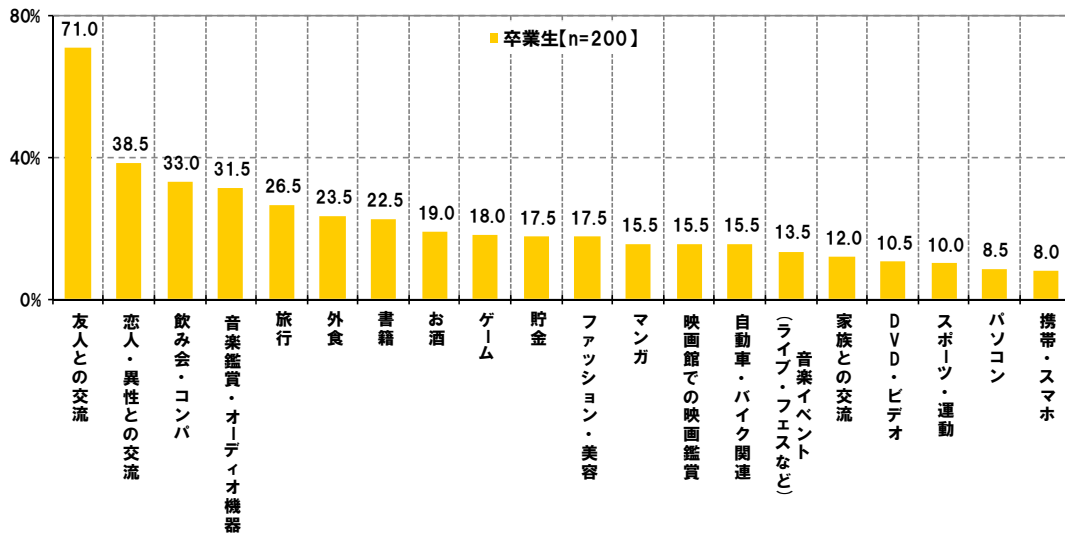


図 22: 大学生活で自由に使えるお金を費やした物事

◆ 大学生活で自由に使えるお金を費やした物事 (複数回答)

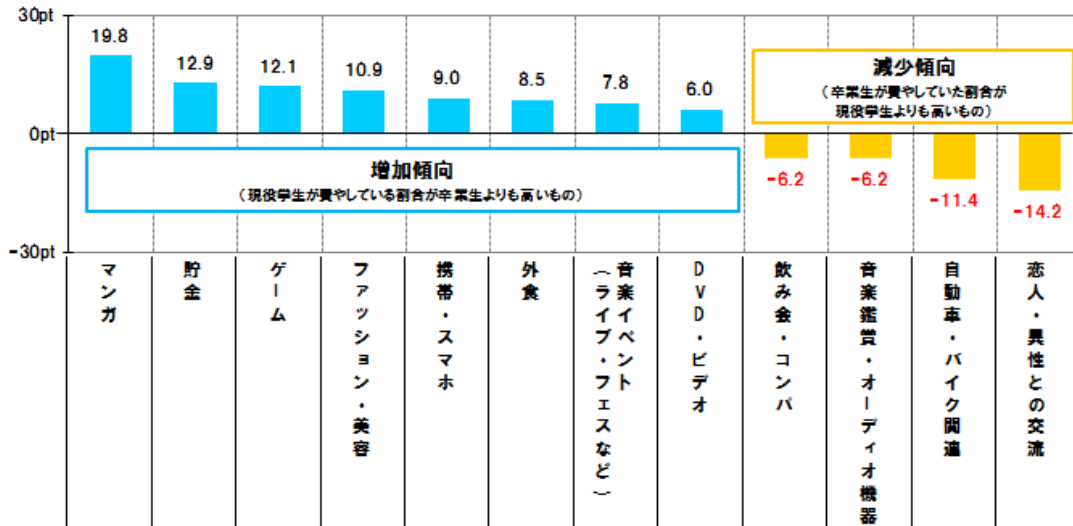
※ 上位20位まで抜粋



◆ イマドキの学生は「CDは買わずにライブに出費」「コンパやデートに行かずに貯金する」

図 23: 大学生活で自由に使えるお金を費やす対象の現役学生と卒業生との差

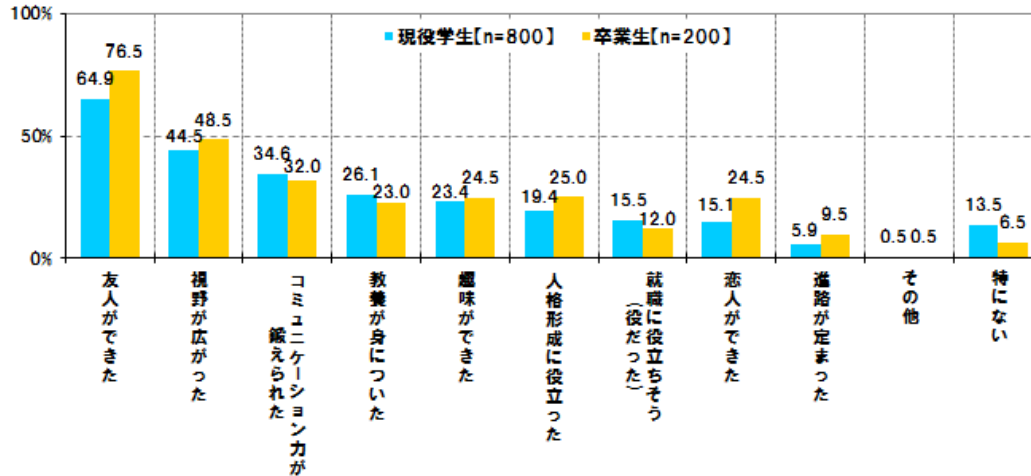
◆ 大学生活で自由に使えるお金を費やす対象の現役学生と卒業生との差
 (複数回答結果より作成) ※5pt以上の開きがあるものを抜粋



◆ キャンパスライフで得たもの「友人」「広い視野」「コミュニケーション力」
卒業生は大学生生活を振り返り「人格形成」や「恋愛」を評価する傾向

図 24: 学科の勉強・研究以外の大学生活で得たもの

◆学科の勉強・研究以外の大学生活で得たもの(複数回答)



◆ 学生のうちにやらずに後悔「勉強」「旅行」「恋愛」

図 25: 大学生のうちに(もっと)やっておけば良かったと思うこと

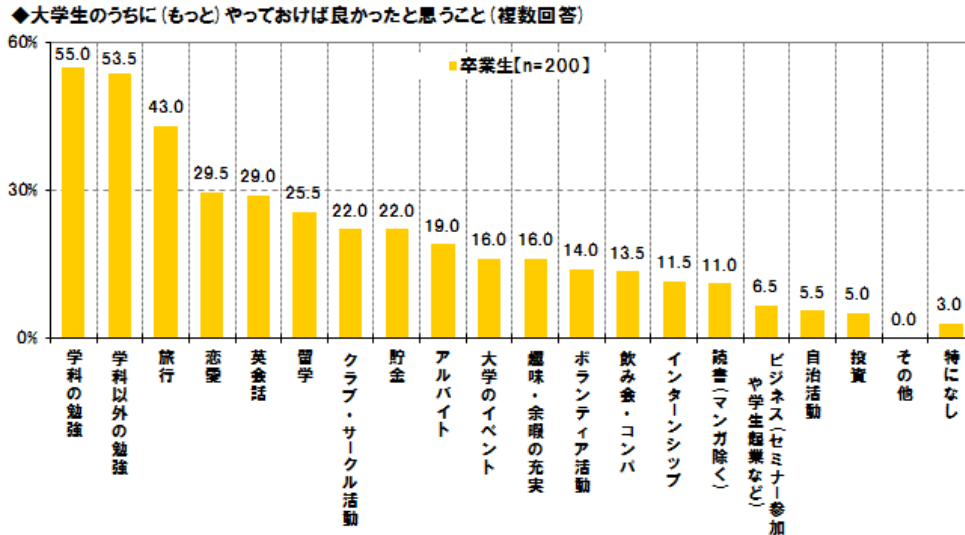


図 26: 大学生のうちに(もっと)やっておけば良かったと思う理由

◆大学生のうちに(もっと)やっておけば良かったと思う理由(自由回答)

※一部抜粋

(もっと)やっておけば良かったもの	理由	性別	年代
学科の勉強	その場しのぎの勉強しかなかったので、大学を卒業しても知識量がとても少ないので、もったいない。何か一科目でも深く勉強すれば良かった	女性	40代
	学問に取り組めるのは学生のうちだけと実感した。どうせやるならとことん勉強すればよかったと思う	女性	40代
	社会人になっても、必要な知識だった	男性	30代
学科以外の勉強	勉強した事が仕事に直結して役に立つかは別にしても、自分で時間を割けば学べる機会がたくさんあるから。しかも単位の数は授業料と関係ないことがよかった	男性	30代
	とりやすい資格ではなく、とりたい資格にしなければ良かった	女性	40代
	学科に関連しつつ、さらに勉強しないと取れない資格を取得できるよう、勉強すれば良かった	女性	40代
旅行	今は自分の時間がなかなかとれず、時間があっても勉強しやすい環境にあつた学生のときに色々な資格に挑戦すればよかったと思う	女性	30代
	大学が最後に時間をかけられる時期だから	女性	30代
	学割で安く行けたから	女性	40代
恋愛	学生時代にしかできない時間の使い方でもっと旅行しとけばよかったから	男性	40代
	もっと純粋に恋愛したかった	女性	40代
英会話	好きなあの娘に告白したらよかった	男性	30代
	グローバルな環境がこんなに早まるとは思ってた	男性	40代
留学	暇な時間が多い学生時代にこそ本気で勉強すれば早く英会話が身についたと思う。外国人の先生もいたのに	女性	30代
	お金を貯めてからと思ったが、社会人になったら時間がなかった	女性	40代
クラブ・サークル活動	勇気を出して興味のおもむくまま進むべきだった	女性	30代
	趣味の幅が広がる	男性	30代
貯金	全く参加しなかったので少しでも活動していたら今とは違う交流も得られていたかもしれないから	女性	30代
	社会人はやっぱり人の目が気になって、お金のかかる事が多いので、学生のうちにある程度貯めておいた方が良かったと思った	女性	30代
	貯金をする習慣が身に付かない	女性	40代

◆調査概要◆

- ◆調査タイトル : キャンパスライフに関する調査
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのモバイルモニター会員を母集団とする、
4年制大学生:800名 / 30~49歳の4年制大学卒業生:200名
- ◆調査期間 : 2013年10月2日~8日
- ◆調査方法 : インターネット調査(モバイルリサーチ)
- ◆調査地域 : 全国
- ◆サンプル数 : 800サンプル / 200サンプル

	現役学生				卒業生(比較調査)	
	1年生	2年生	3年生	4年生	30代	40代
男性	100	100	100	100	50	50
女性	100	100	100	100	50	50

- ◆実施機関 : ネットエイジア株式会社(担当:安高)

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、「東京工芸大学調べ」と付記の上、ご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

東京工芸大学 学事部広報課 担当:林、栗原
 電話:046-242-9600 / FAX 046-242-9638
 e-mail: university.pr@office.t-kougei.ac.jp

■■東京工芸大学 概要■■

東京工芸大学は、1923年(大正12年)、当時メディアの最先端であった我が国最初の写真の専門学校として設立されました。近年、工学部と芸術学部の2学部からなる特色ある4年制大学として、我が国初のアニメーション学科を創設し、更に2007年4月には東日本初となるマンガ学科を増設するなど、常にメディア芸術・コンテンツ芸術の発展に先導的役割を果たしてきました。

現在は、「工学×芸術=∞(無限の可能性)」という考え方のもとで工学部と芸術学部の様々な連携教育及び活動を進めており、創造性とオリジナリティーあふれる人材を育成しています。

理事長・学長

学校法人東京工芸大学 理事長 岩居文雄(いわい ふみお)
 東京工芸大学 学長 若尾真一郎(わかお しんいちろう)

所在地

法人本部 東京都中野区本町2-9-5
 中野キャンパス 東京都中野区本町2-9-5
 厚木キャンパス 神奈川県厚木市飯山1583
 ホームページ
<http://www.t-kougei.ac.jp/>

設置学部・大学院等 (学生数4,477名:2013年5月1日現在)

【工学部】

メディア画像学科、生命環境化学科、建築学科、コンピュータ応用学科、電子機械学科

【芸術学部】

写真学科、映像学科、デザイン学科、インタラクティブメディア学科、アニメーション学科、ゲーム学科、マンガ学科

【大学院】

工学研究科、芸術学研究科